

# おとずれ

(発行者)富士吉田カトリック教会  
(住所)〒403-0005  
山梨県富士吉田市上吉田3-5-7  
(TEL)0555-22-3199  
(FAX)0555-25-7002

2026年07月第527号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>



## 心の貧しい者は幸いである

マリア 新井静香

『自分の貧しさを知る人は幸いである、天の国はその人のものだからである。

悲しむ人は幸いである、その人は慰められるであろう。

柔和な人は幸いである、その人は地を受け継ぐであろう。

義に飢えかわく人は幸いである、その人は満たされるであろう。

あわれみ深い人は幸いである、その人はあわれみを受けるであろう。

心の清い人は幸いである、その人は神を見るであろう。

平和をもたらす人は幸いである、その人は神の子と呼ばれるであろう。

義のために迫害される人は幸いである、天の国はその人の物だからである。』

※マタイによる福音書5章3節から 10 節

「心の貧しい人」とは、自分を過信せず自分の意見に固執せず敬意をもって相手に耳を傾け相手の決断を尊重する人です。と教皇フランシスコはおっしゃいました。

「心の貧しい人」とは、神と出会い神の前でどれほど自分が小さいかに気付いた人。お互いが自分の限界を謙虚に認めて譲り合い互いの意見を受け入れあうとき私たちの間に「神の国」が始まります。

現実にはとても難しいことかもしれませんが、今この地球で起こっている戦争が早くおわって平和になりますように。

それには、私達一人ひとりが許しあい、認めあい、愛し合い、譲り合う事が求められているのではないのでしょうか、そんな世の中がやってきてほしいと、説に願っています。

## 聖歌と校歌～ことばの大切さ

セシリア小林恵美子

カトリック信者の家庭に嫁いで、日曜日のミサに通うようになった当初、なかなか慣れずに苦手意識があったのが聖歌でした。それまで、教会音楽ともグレゴリオ聖歌とも縁がなかったので、歌いづらくてしかたがなかったのです。しっかり音が取れるように練習しなくては駄目だと、自分用の典礼聖歌集を購入しパラパラとめくっていると、楽譜の右上に書いてあるCL、TSなどの記号はなんの意味だろうと疑問に思いました。ああ、なるほど作詞作曲者のイニシャルね、それにしてもTSがやけに多いけれど、これは誰？……と巻末で確かめると、そこには「高田三郎」の名前がありました。

中学生時代に合唱部だった私にとって、高田三郎先生は『水のいのち』『ひたすらな道』『わたしの願い』など、憧れの合唱組曲の作曲家でした。そして、その憧れの高田三郎先生が、新設校だった富士河口湖高校の校歌を作曲してくださったことが、家から徒歩で通える吉田高校に入学できなかった無念を、少なからず晴らしてくれたのでした。(当時は総合選抜制で、本人の意志に関係なく合格者は2校に均等に振り分けられたのです。)

第二バチカン公会議以降、それまでラテン語で行われていたミサが各国語で行われることになり、日本カトリック司教団から日本の典礼聖歌作曲を依頼された高田先生は、「ミサは全部神のことばで出来ている。だから間違った解釈で作曲してはならない」と、ご自身の信仰を問いながら、晩年に至るまで220曲あまりの典礼聖歌を作曲されました。当時を知る義母からは、「追加、追加で、だんだん聖歌集のページが増えていった」のだと聞きました。高田先生はご著書のなかで、全国の信徒から激励とお祈りの手紙がたくさん届き、これほどまでに祈ってもらった日本人は他にいないだろうと思ったと書いていらっしゃいます。こだわりをもって音を選び抜く「生みの苦しみ」を神様からの「贈り物」として、作曲家の職人芸に徹された信仰の深さに心打たれます。

高校入学後、高田先生が校歌の歌唱指導に来てくださいました。富士河口湖高校の校歌は混声三部合唱で、「冷たい風が樹海に 朝の光を運べば」で始まります。伝統校の勇ましい校歌と異なりゆったりとした曲調で、「冷たい風が樹海に」までで四小節。それをブレスなしで途切れることなく歌うように、とのご指導。息が続かない私はとても苦しかったことを覚えています。また、作曲される際には常にピアノの傍らにアクセント辞典をおき、決して日本語として不自然な抑揚にならないようにしているというお話も印象的でした。校歌の作詞者は、初代校長を務められた岡部襄先生でした。ご自身が紡がれた校歌のことばを、高田先生が大切に作曲してくださったことを、校長先生はさぞや嬉しく思われたことだろうと拝察します。

聖歌集の中には、1番と2番、3番で、音符の変更が示されている曲があります。ことばの違いによって、イントネーションが異なるからです。神のことばの大切さを貫く、高田先生らしさのあらわれだと感じます。

私たちが聖歌を歌うとき、神のことばを大切に深く味わい、祈りの心を込めて歌うようにしたいものと思います。

# 6月教会委員会議事録

2026年6月13日

メンバー:千葉神父・新井・江守・大野・小林・曾根・福永・和田

## 1. 広報グループ

### \*教会のSNS 発信要望の件

- ・外国からのツーリストが教会を探して訪れるケースが多くなっている。ほとんどの人が SNS で調べて来るが、駐車場がわかりにくかったり、他の教会に行きついたり、不便が生じている。「教会としてインスタグラム Facebook 等のアカウントをとれないか。」との要望がある。
- ・宣教司牧委員会の折に山梨県の他教会に聞いてみたが、やっているところは無い。
- ・教区事務局長 谷脇神父様によると、「教会として Facebook やインスタグラムを発信することは OK だが、プライバシーや著作権には特に注意してほしい。例えば聖歌のBGMや聖書の引用についても広い意味で言えば、侵害に当たって来る場合がある、悪意のある行動(攻撃)に対しての対策が難しい。コメント機能はオフにすること。」とのこと。
- ・現状、上記注意事項を踏まえ、細やかに教会で管理の担当者として任に当たってくれる人がいない。現時点ではアカウントを持つことはできないが、google map 等に情報の追加・訂正などを行う方法もある。ホームページでの情報提供も考えていく。
- ・要望のあった信徒と大野さんで話しをしていただくことにする。

### \*「教会のパンフレット」差し込み写真と内容の確認

- ・教会のパンフレットを作製したが、差し込みの写真を新しいものと取り換える。「テレジア様のご像」および「聖堂内部写真」ミサについての文章の一部誤りの修正も行う。27日のおとずれの印刷と一緒に印刷予定
- ・英語版の進捗状況を佐々木綾子さんに確認する。

\*2 合目の聖母像のパンフレットを現在教会にいらした方に配布しているが、増刷を当教会(広報)でやっていきたい。英語版データを、訳した佐々木さんよりいただき、増刷の許可をサレジアンシスターズ、佐々木さんに大野さんより確認してもらう。

\*締め切り 21日、印刷予定 27日

## 2 一粒会大会および宣教司牧委員会より

### \*本年度スケジュール

- ・11/7 に一粒会本部において来年度の大会に講演をお願いする方および内容を司教様から承認をいただく。
- ・5/31, 6/7 打ち合わせを行い、テーマ、イベント内容、講師司祭の招待などスケジュールの共有を行った。
- ・9月あたりには講演をお願いする方や内容を決めなければならないため、7月ころから動く予定
- ・講演のターゲットとしては「外国由来の方に」。講演者と共にパネルディスカッションを行ってはどうか。(以前清泉小学校で行ったイメージ)
- ・今後の課題は、聴覚障害のある方のために文字起こしのできる人・手話等の人材確保などが必要。
- ・11月頃より実行に関わる人たちを募り話し合う予定。
- ・今回 zoom を使った会議を行ったところ有効であった。今回の件は一粒会に関わる内容なので大野さんの個人アカウントで行った。教会で法人としてアカウントをとるのは、今後の利用需要を見極めながら検討していきたい。(年間 24,000 円)
- ・2027年 10月 11日一粒会大会に向け、皆さまのご協力をお願いしたい。

### \*甲府教会において 10月の初頭に堅信式予定。

- ・「パーティ内容や事務局との対応をどのようにしたか」を甲府教会より問い合わせあり。
- ・行事企画チームで行った内容をお知らせするとともに、事前に牧山神父様に送った「堅信式次第」を大野

さんより甲府教会相川さんにお送りする。

### 3. 今後の行事予定

\*2027年度待降節黙想会：2026年12月13日(待降節第3主日)、指導司祭:ジョナサン・レイ・ビリアコルダ神父(神言修道会・フィリピン出身)

\*アメリカ巡礼団受け入れのこと 7月18日(土)13:30-ミサ 27名

### 4. 「横浜教区共同宣教司牧サポートチーム神奈川」主催の研修会参加に関する変更事項

\*「管理・運営奉仕者養成」コースは申込者が2名しかなかったため今年度は開講されない。

\*「傾聴奉仕者養成 実践コース」に新井さんが引き続き参加

### 5. 共同代表より6/28「夏季大掃除」について

\*聖堂、集会室に分かれての掃除内容の確認

・両所ともエアコンがあるが、聖堂は高所のため、(業者に頼むか?)営繕の和田さんから自分たちで可能か事前に確認してもらう。

・ワックスがけをするので、扇風機を司祭館屋根裏部屋より神父様に下していただく。

・ダルクさんに4~5名お手伝いを要請済み

・掃除後順次カレーを食べて帰っていただく(セルフサービス)

### 6. 典礼グループ

\*「臨終から葬儀まで」パンフレット最終確認

・パンフレットと共に「家族への覚書き」もお渡しし、自宅で保管いただく。お一人暮らしの方もおられるので、その場合は教会でお預かりする旨を明記しておく。

\*シスター滝口の講座のテーマはシスターにお任せする。

### 7. 営繕グループ

\*今後の修繕予定

・聖堂入口スロープの修繕の件。劣化しているので、いずれは大規模に修繕の必要がある。

・傾斜がきつく、車いすでは利用せず、脇のスロープを使ってほしい。

### 8. その他

\*コロナで中止していた、聖堂入口の聖水を再開する。(聖水は、典礼グループが日曜日に入れ替える)

※聖水は聖堂に入る時「自分の洗礼を思い起こす」為にある。

## 教会委員会臨時会

2026年6月13日 11:30～

メンバー:千葉神父・新井・江守・小林・曾根・福永(明)・和田

オブザーバー:福永好雄

◎教区事務局白井啓道氏に作成いただいた「墓地規程」に基づき話し合い

\*4月27日に来訪いただき、教会委員会メンバーとの話し合いに参加された白井氏より、「富士吉田カトリック教会共同墓地管理使用規程」修正案をいただく。

\*白井氏よりいただいた質問等について話し合う

◎今後の予定

\*7月5日予定の墓参の折に、墓石業者にきていただき、カロートの内部確認

\*7月11日(土)教会委員会のおと臨時会を行う。

## 教会日誌 (2026年5月16日～2026年6月15日)

【5月】

16日(土)シスター滝口の信仰講座第1回@サレジオンシスターズ山中修道院

17日(日)聖歌隊練習

24日(日)営繕グループ 聖堂床下の害虫駆除薬バルサン燻蒸。

【6月】

6日(土)営繕グループ 聖堂入口スロープのコンクリート部分の割れ修復

7日(日)一粒会大会実行委員会ズーム会議(甲府、塩山、葦崎の各教会と個別委員をつないで試験的にズームミーティング)、聖歌隊練習

13日(土)教会委員会・臨時会

14日(日)行事企画グループ 8月プチパーティの打ち合せ等

## お知らせ

◎「臨終から葬儀まで」パンフレットにつきまして

パンフレットを作成いたしました。任意でお書きいただくことのできる「家族への覚書き」も用意いたしましたので、お使いください。ご希望の方は、典礼グループ(曾根、小林、江守)までお申し出ください。

# こよみ

## 7月

日付	教会暦	行事内容等	日曜学校
7/5(日)	年間 第14主日	墓地清掃(日曜学校参加)	○
7/11(土)		教会委員会 10:00/臨時会 午後	
7/12(日)	年間 第15主日	日曜学校 1 学期終業式 宣教司牧委員会(葦崎教会)	○
7/18(土)		シスター滝口の信仰講座第3回 (山中修道院)	
7/19(日)	年間 第16主日	聖歌隊練習	
7/26(日)	年間 第17主日		

\*7月18日(土)13:30~アメリカ巡礼団

\*御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

\*\*\*\*\*

イタリア語教室(月曜10時):6, 13, 27

\*\*\*\*\*

## 8月予定

- ・2日(日) 年間第18主日
- ・9日(日) 年間第19主日
- ・16日(日) 聖母の被昇天ミサ プチパーティ
- ・23日(日) 年間第21主日
- ・30日(日) 年間第22主日

## 7月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	侍者		香部屋
5	大野 隆	中田 一雄	宮本 二郎	ミン	山田 信一	小林 恵美子
12	曾根 美香	小林 恵美子	遠藤 伸子	山田 信一	山田 健太	中村 すみ子
19	小林 恵美子	ヴ ティ ホア	山田 恵子	シヨン	スティーベン	曾根 美香
26	遠藤 伸子	和田 一郎	グエン ティ カ	大野 純佳	中田 春美	江守 香代子